



[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-222/2021年1月24日
[技術の名称]	建築物の外壁補修技術「ニポモル・ピンネット工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	西日本ポリマー産業株式会社

[技術概要]

本工法は、コンクリート構造物における外壁等の既存仕上げ層の上に、特殊繊維ネットの埋設、専用アンカーピンでの固定を含んだ新たな複合層をポリマーセメントモルタルで形成し、既存のタイル面やモルタル等の仕上げ材の剥落の防止を図る工法である。本工法は、以下のプロセスから構成される。

- ① 既存仕上げ表面に接着強度が早期に発現できる特殊アクリル樹脂エマルジョン、アルミナセメントを主成分とするプライマーを塗布後、カーボンファイバー配合のポリマーセメントモルタルを塗付け、特殊繊維ネット(ビニロン製二軸ネット)を貼付ける。
- ② 特殊繊維ネットの上から4本/m²の注入口付きステンレスアンカーピンをコンクリート躯体に打ち込み、エポキシ樹脂を注入し固定する。
- ③ 更にカーボンファイバー配合のポリマーセメントモルタルで表層を被覆して強固な複合層を形成する。

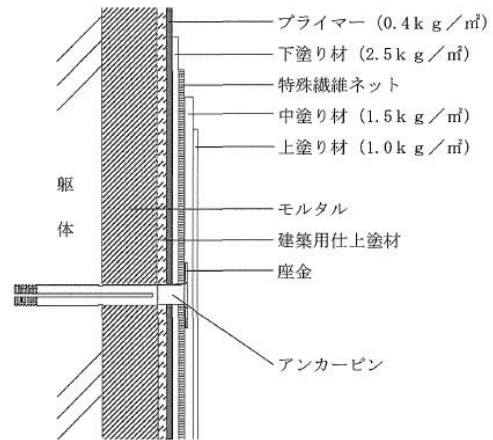


図: 本工法施工断面図

[開発の趣旨]

- (1) 既存仕上げ層を撤去しないため、従来工法に比べ工期の短縮や工事費の節減が可能であるとともに、廃棄物の発生抑止に寄与する。
- (2) 外壁仕上げ材に対して保護被膜を施し、外壁仕上げ材の剥落による人的被害を防止し、社会資産である建築物の維持保全を図る。
- (3) 既存仕上げ表面に接着強度が早期に発現できるプライマーを塗布することにより工期の短縮が図れる。

[開発目標および審査証明結果]

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 複合改修層と既存下地との接着強度が0.7N/mm²以上であると判断される。
- (2) プライマーと下地との接着強度を3日で1.0N/mm²以上とし、工期の短縮を目指し、施工性の改善が図られているものと判断される。
- (3) 適切な施工を行うための施工マニュアル、施工体制を確立し、安定した品質と性能を確保しているものと判断される。

[本技術の問合わせ先]

西日本ポリマー産業株式会社

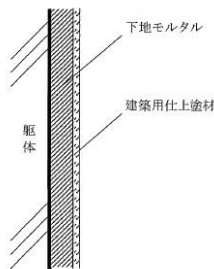
開発部 野見山秀利

TEL: 092-562-4121 FAX: 092-562-4811

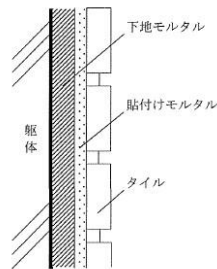
技術紹介サイト

<http://www.e-nps.jp/>

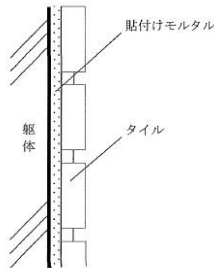
① 躯体+下地モルタル面+建築用仕上塗材面



② 躯体+下地モルタル面+タイル張り仕上げ



③ 躯体+タイル張り仕上げ



④ 躯体+モルタル面(仕上げなし)

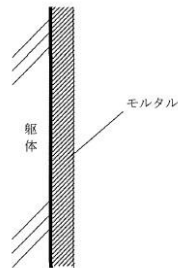


図: 適用対象躯体断面図